



『惑星のさみだれ』アニメ化記念 水上悟志の新人時代

演出やコマ割りへの確かなこだわり



漫画家
水上 悟志
みずかみ さとし

大阪府出身。代表作に『惑星のさみだれ』『スピリットサークル』など。『惑星のさみだれ』は2022年7月よりアニメ放送を開始。



漫画編集者
須見 武広
すみ たけひろ

月刊ヤングキングアワーズ GH 編集長代理。水上悟志の初代担当であり、『散人左道』や『スピリットサークル』の担当編集を務める。

小学生から漫画家志望

——水上先生はどのように漫画家を志望したのでしょうか

水上…小学校2年生のときには「俺は漫画家になる」と決めていました。特に漫画の演出やコマ割りには、昔からこだわりがありました。アニメを見て「このシーンが漫画ではどんなコマ割りやアングルで表現されるのかな」と考えたり、アニメのフィルムコミックスに対して「このコマ割りは違うだろ」とツッコミを入れたり。

——水上先生の強みである演出力は子供の頃からのものだったのですか

水上…そうだと思います。その後も、オリジナルの漫画を描き続けました。小学校から高校まで、だいたい大学ノート40冊分は描いたと思います。

ただ、初めて原稿用紙に漫画を描いたのは高校2年生のときです。作品を出版社へ送ってみました。特に返事はありませんでした。そこから「高校卒業後すぐに漫画家になるのは難しそう」と判断し、慌てて受験勉強をして大学に進学しました。そして、大学入学後もひたすら漫画を描いていました。

——水上先生は大学を中退されているようですが、それも漫画が原因でしょうか

水上…多分そう(笑) 勉強していませんでしたから。大学を中退した後は、親に勧められ漫画の専門学校に進みました。親としては「これでダメなら就職しなさい」という気持ちだったと思います。

——著作である『水上悟志のまんが左道』の中では「社会に出るのが怖かった」とも話されていますね

水上…はい、子供の頃から親や先生から「社会に出たら誰にも助けてもらえない」「甘い考えでは生きていけない」と言われ、脅されてきましたから。それにすっかり怯えて、「社会は怖いものだ」と思っていました。

——大人になって「社会は怖い」という考えは変わりましたか

水上…いや、今もまだ怖いですが(笑) 今から組織人になることを想像すると恐ろしい……。

——その後、専門学校在学中にアワーズの新人賞を受賞されていますね。受賞しときの心境はいかがでしたか

水上…描こうと思ったら描けただけでよ。それに、僕は漫画の専門学校に在籍していたので、授業の課題をそのまま須見さんに提出していましたから。

須見…でも、専門学校の中でも描く量は多かったんですよ？

水上…はい、課題の提出率は200%を超えていたらしいです(笑)

『惑星のさみだれ』アニメ化を受けて

——二〇二二年七月からアニメ『惑星のさみだれ』が放送スタートしました。新人の頃の水上先生が、アニメ化のことを知ったらどう思われるでしょうか

水上…いやあ、びっくりするでしょうね。「なんとか頑張れば食えるはず」くらいに思っていました。思ったより順調に食える漫画家になれたので。

須見…『惑星のさみだれ』は漫画家・水上悟志の一番の傑作であり代表作ですからね。アニメ化というのは本当に悲願が叶ったようで、嬉しく思います。

水上…とはいえ、過去の作品なので因われ過ぎないようにしたいです。自分は今まで漫画家ですから、連載中の作品と今後描く作品に腰を据えたいかな、と。

昔から構図に自信あり

——ここからは、初代担当である須見さんも交えてお話できればと思います。須見さんは、先生の作品のどこに惹かれたのでしょうか

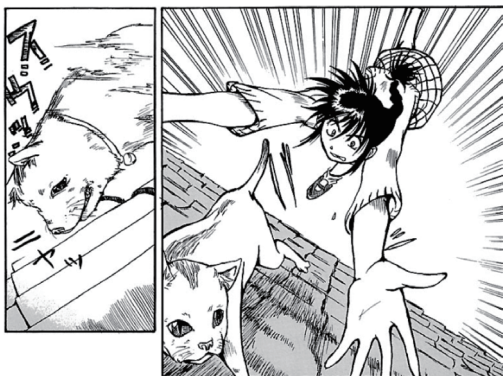
須見…一つはキャラクターです。男性読者からの人気に不可欠な「可愛い女性キャラ」が描けていました。また、アングルや構図、コマ割りへの工夫が全ページにわたって感じられました。新人で魚眼の構図に挑戦する姿勢にも驚きました。見どころのある新人でしたよ。

——新人時代、須見さんからのアドバイスはありましたか

須見…原稿を月に16ページ上げるよう提案していました。

水上…月に16ページとは、新人に無茶言いますよ(苦笑)

須見…でも、水上先生は16ページどころか24ページも描いていましたよね。そもそも、新人に原稿を描けと言っても、描かない人が8割。描ける人でも月に8ページがやっとです。その中で24ページも描ける水上先生は、相当稀有な例でした。



デビュー作『弥一郎』より © 水上悟志 / 少年画報社

スピリットサークル



全6巻発売中

惑星のさみだれ



全10巻発売中

中学2年生の桶屋風太の元に現れた転入生・石神鉦子。風太は彼女から「前世の恨み」で殺されかけてしまい……。過去生の記憶を巡る、輪廻転生スペクタクル！

大学生の雨宮夕日は、ある日現れた喋るトカゲに「地球の危機」を救う協力を依頼される。早くも敵に襲われ絶体絶命のそのとき、夕日を救ったのはなんとお隣に住む少女・さみだれ。驚くことに、さみだれは地球粉砕を企んでいた。「願い」が交錯するSFジュブナイル！

水上悟志作品 既刊絶賛発売中